

がいろめ倶楽部たより

第23号



●平成30年1月～3月の活動報告

◆「浅田先生を囲むやきもの談話」が開催されました。

講師： やきもの文化と芸術振興協会理事長 浅田 員由氏

場所： 陶磁美術館本館1階 展示説明室

1月11日(木) 10時～12時

「院政期やきもの」「平成」は今年で終わり、来年は天皇が代わる年にあたり、院政期のやきものをテーマにして、年の初めのやきもの談話が開講です。白河上皇は、実子を幼帝に立てて、その後見として、自ら政務を執ることから、院政が始まった。末法思想が拡がり、極楽浄土への往生を願って書写した経文を納める容器として、経筒外容器が造られた。入手が難しい宋の白磁壺に代わるものとして、猿投窯や渥美窯のやきもので造られた。白河上皇の時代から盛んになる造寺に伴う瓦も、窯業産地で生産されたものが、流通の発達によって都まで運ばれたことなどを学びました。(参加者15名)



2月8日(木) 10時～12時

「猿投窯成立の背景 発掘作業で見えたもの」「歩竜(アルキオロチ)という言葉から考古学・歴史学・民俗学・民族学の話があり、その中で、浅田先生が窯跡などを発掘された時のエピソードを聞くことができました。また、猿投窯の諸輪穴窯の構造について説明があり、渥美窯との共通点、常滑窯との違いなど、土のよって窯が違ってくるのが良くわかりました。その後、新羅の緑釉陶器と猿投窯の緑釉陶器の説明がありましたが、今のところどんな繋がりがあるのか、実態は明らかでないとのことでした。最後に本多静雄氏の人物について質問があり、その回答の中で、愛知県陶磁美術館(陶磁資料館)ができる経過話を少し聞くことができました。(参加者19名)

3月8日(木) 10時～12時

「茶と天目茶碗」 天目茶碗といえば、黒い釉薬の茶を飲むための碗のことを指しているが、そも

そも、宋代に喫茶の具として茶碗の需要が増大し、中国の福建省、建窯で大量の茶碗が焼かれた事に遡る。8世紀中頃は越州窯の青磁碗が最も茶に適していると評価されていた。その頃中国に派遣された遣唐使が「茶」と「青磁碗」を日本にもたらし、上流階級の間では、茶が飲まれていた。鎌倉時代には、禅宗寺院が多く建てられ、禅寺の作法として、茶が



用いられた。一方、中国では喫茶の大衆化が進み、黒釉の碗が安価に提供され、広く使用された。この碗が日本の禅僧の多くが修行した天目山に因んで、天目茶碗と呼ばれた。室町時代中期には、建窯の黒釉の碗が最上のものとされたが、16世紀後半に侏茶が隆盛を迎えると、建窯の評価が下がったことを学びました。(参加者19名)

◆やきもの大学「染付の魅力さをぐる」が開催されました。

1月13日(土) 10時30分～12時 本館地下1階講堂

講師: 瀬戸染付工芸館 伊藤 かわり氏 大谷 昌弘氏

「講演・実技 瀬戸染付」伊藤講師から瀬戸染付の名品の映像紹介で始まりました。19世紀始めの瀬戸の地呉須の水指や南画系絵師の染付の大花瓶、幕末の川本半助の鉢や茶碗、皿などが紹介され、さらに明治に入ってから染付で草花文様の大皿や花器などが紹介されました。また、やきものの制作工程を、土づくりから焼成に至る手順も紹介されました。後半は大谷講師が、大皿に呉須で紫陽花を描く、染付の実際を公開されました。通常この大きさの皿への染付は1日掛かる所を、時間の制約もあり、講座時間の間に主要な部分を描かれ、その技術の高さと筆を巧みに揮う速さに、見とれてしまいました。(参加者 80名)



◆考古学とやきものつどい

1月26日(金) 10時30分～12時 本館1階展示説明室

講師: 愛知県陶磁美術館 学芸員 大西 遼

「猿投窯と考古学」今年度最終の講義は「足下に眠る 1086 窯のエネルギー」。まずは、猿投窯って何だろう?の問いに、愛知県下に知られている地名を皆でリストアップ。そこで大西講師が持参された“愛知県史”で古窯がプロットされた大きな地図を広げ、猿投窯の発掘されたポイントを皆で探し、広範囲で分布していたことを再確認。また、発掘された陶片を手にして、作成された時期や製作・焼成方法などを推定し、考古学の片鱗を味わうことが出来ました。



(参加者 13名)

◆やきもの大学 九州研修旅行

平成30年3月13日～15日(2泊3日)

初日はのぞみで博多へ。九州陶磁文化館館長鈴田様がバスに同乗されての御案内で、柿右衛門古陶磁参考館、源右衛門窯等を訪問。いずれも奥の施設まで拝見でき、嬉野温泉泊。2日目は波佐見町教育委員会の中野様の御案内でくらわん館、中尾登窯跡などを見学。三川内皿山町はガイドによる、まち歩きを楽しみハウステンボス泊。夜のハウステンボスを楽しんだ方も。3日目は長崎の出島と唐人屋敷跡を地元ガイドによる散策を楽しんだ後、長崎空港から中部国際空港へ、無事戻りました。(参加者 26名)



◆平成29年度総会が、次の通り開催されます。

平成29年度総会 5月12日(土) 午後1時から愛知県陶磁美術館 本館1階展示説明室で開催します。(総会資料は4月下旬に発送予定です。)

発行元 : 「NPO 法人 やきもの文化と芸術振興協会」事務局

住所 : 〒489-0875 瀬戸市緑町2-43

お問い合わせ : 電話番号 : 090-5850-6969 (谷)

メール : yakimono.bunka@gmail.com

ホームページ : <http://yakimonobunkajimdo.com/>